

2023年第2回国立名作映画上映会

—オカリナミニコンサート付き—

百の診療所より一本の用水路を

劇場版

# 荒野に希望の灯をともし

朗読 石橋蓮司 / 語り 中里雅子

取材 柿木喜久男 / 大月啓介 / アミン・ウラー・ベーク

CG 平野雄一 / 音効 渡辺真衣 / 大島亮 / 演奏 中村幸

編集 櫻木まゆみ / 撮影・監督 谷津賢二 / 構成・制作 上田未生

◆文化庁文化芸術振興費補助金 / 独立行政法人 日本芸術文化振興会  
企画 ペシャワール会 / 製作 日本電波ニュース社 2022年 / 日本 / カラー / 90分

20年以上に渡り撮影した映像素材から 医師 中村哲の生き様を追うドキュメンタリー—の完全版！

# 武力で平和は守れない

これは「生きるための」戦いだ。

アフガニスタンとパキスタンで、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた男、医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設してきた。なぜ医者が井戸を掘り、用水路を建設したのか？その答えは、命を見つめ続けた中村の生き様の中にあり、私たちはこの映画で中村が生きた、その軌跡をたどることになる。



「彼らは殺すために空を飛び、  
我々は生きるために地面を掘る。」 —中村哲

中村の誠実な人柄が信頼され、医療支援が順調に進んでいた2000年。思いもよらぬ事態に直面し、中村の運命は大きく変わる。それが“大干ばつ”だ。渇きと飢えて人々は命を落とし、農業は壊滅、医療で人々を支えるのは限界だった。その時、中村は誰も想像しなかった決断をする。用水路の建設だ。大河クナールから水を引き、乾いた大地を甦らせるというのだ。しかし、医師にそんな大工事などできるのか？戦火の中で、無謀とも言われた挑戦が始まった。

「ここには、天の恵みの実感、誰もが共有できる希望、  
そして飾りのないむきだしの生死がある。」 —中村哲

専門家がいないまま始まった前代未聞の大工事は、苦難の連続だった。数々の技術トラブル、アフガン空爆、息子の死・・・中村はそれらの困難を一つ一つ乗り越え、7年の歳月をかけ用水路は完成。用水路が運ぶ水で、荒野は広大な緑の大地へと変貌し、いま65万人の命が支えられている。そして一。

2019年12月。さらなる用水路建設に邁進する最中、中村は何者かの凶弾で命を奪われた。その報にアフガニスタンは悲しみに沈み、ニューヨークタイムズ、BBCなどが悲報を世界に伝えた。あれから2年半。日本ではその生き方が中学や高校の教科書で取り上げられ、母校の九州大学はその思索と実践を研究し始めた。中村の生き様は静かに語り継がれ、輝きを増しながら人々を励まし続けるだろう。そして用水路はこれからもアフガン人の命を支え続けていこう。

戦火のアフガニスタンで21年間継続的に記録した映像から、これまでテレビで伝えてきた内容に未公開映像と現地最新映像を加え劇場版としてリメイク。混沌とする時代のなかで、より輝きを増す中村哲の生きざまを追ったドキュメンタリー！

— [劇場版] について —

この映画は、2022年に完成した作品で[DVD版]とは異なって、2019年中村哲さんが凶弾に倒られた後の、アフガニスタンの状況を描いています。



映画で街を元気に!!

PassMarket



日時/2023年 6月4日 (日) ①10:00~12:20 ②2:00~4:20

会場/多賀市民会館ホール 定員/各回450席(前売・予約420席/当日30席)

入場料金/前売 1,100円 (当日¥1,300) ※前売券は時間指定になります。(座席は全席自由席です)

- ◆ プレイガイド 多賀市民会館、日立市民会館、日立シビックセンター、ゆうゆう十王Jホール、デジタルチケット
- ◆ 電話予約先 (予約受付期間5月4日~6月3日)

☎ 090-1209-1776(青田)、☎ 029-226-3156(茨城映画センター/平日10時~5時)

- 後援/日立市、日立市教育委員会、日立市社会福祉協議会、(公財)日立市民科学文化財団
- 主催/映画「荒野に希望の灯をともし」日立上映実行委員会(青田) 提供/茨城映画センター

◆ 上映の前にオカリナ奏者・野内敏子さんによるミニコンサートがあります。◆